



チョウマメ *Clitoria ternatea* L. マメ科

名古屋大学博物館友の会

NUM 友の会ニュースレター

No. 68

2022 年秋号

NUM 友の会書面総会の結果をお知らせします。

議案 1 賛成 98 反対 0 保留 0

議案 2 賛成 98 反対 0 保留 0

議案 3 賛成 95 反対 2 保留 1

会員の皆様のご意見

1. 私は以前植物画教室のお世話係をしていました。コロナで中止になり生徒だった方々からどうなっているの、いつ始まるの、と尋ねられていました。ここ最近は皆さん諦めたようです。私個人の意見としては他の先生でもよいのでまた始まってほしいと思っています。来年 1 月から再開の予定です。
2. ボタニカルアートサークルの活動が早く再開されますことを願っています。
3. コロナが収束し、植物画教室が再開されましたら、ぜひ入会したいです。
4. コロナが一日も早く収束して植物画サークルが再開できるのを待っています。
5. 地質、地層、岩石に関するフィールドワークの催しを期待します。
6. 地質クラブ(ジオクラブ)ができると嬉しいです。
7. ご苦労様です。早くコロナがおさまり、「アメリカホドイモ」を見てみたいです。
8. シャンソンサークルの早期再開を希望します。
新型コロナウイルス感染との兼ね合いで、発声を伴うものはもうしばらく様子見が必要です。
9. ニュースレター、ボタニカルアートカレンダー、毎回楽しみにしています。ありがとうございます。講演会やギャラリートーク、大学連携キャンパス講座等の再開をお願いします。
10. 東栄町のセリサイト鉱山行きたかったです！！2 か月前に予定がわかるとうれしいのですが・・・またの機会があれば参加します。
11. コロナの感染の心配のある時に無理なのでしょう。以前のコンサートのように予約なしで行ける催しがあったらいいな・・・です。

12. ニュースレターの発送、4 月のみ遅いかと！ 年度初めは早めにお願いたします。お手数です。
13. 会員が 298 名なのに 2021~2022 年度分の収入合計が 207,000 円とはこれいかに。それが内規の改定につながるようになったのですか？
家族会員(52 名)や前納された会員数も含まれているため、会員数=会費にはなりません。また、2022 年度会費未払い 58 名、2021 年度 84 名なので内規の改定が発案されました。5 月に博物館を訪れたら館内私一人でした。”発酵”展はとても興味深かったのですが。もったいないですね。
14. 「いきものこよみ」に参加してとても楽しい 1 日でした。次の機会も楽しみにしております。いつも会報等もありがとうございます。
15. 早く集まりますように。ワクチン証明あれば参加可とかで！
16. 早くコロナが収まり、いろいろな活動が再開できることを願っています。郵送代も高いので近くの人は博物館に寄った際にニュースレター等をもって帰って、その他の人の分だけ郵送、というのはどうでしょうか。
17. コロナ禍がなかなかおさまらず残念です。またコンサートなどできるようになることを祈っています。今後共よろしくお願いたします。
18. ボタニカルアートカレンダー毎年ですが、他のサークルのカレンダーを作成することは不都合なのでしょうか？ プロの植物細密画家である東海林富子先生の絵を無償で使わせていただいています。この絵を毎年楽しみにされている方が多いので、何年も続いています。他にもご提案がありましたらお寄せください。
19. NUM 友の会のニュースレターを毎回楽しみにしています。花が好きで(特に野草)紙面の花が目にとまります。一度観察園にも行きたいのですが、今のところは花々の写真で楽しんでいます。
20. 議案 3 について：うっかり忘れた場合、次年度に 2 年分支払うことも許されて良いかと思います。そのような方のために現在、2 回に渡り払込取扱票をお送りしています。必要ならば 3 回にしても良いかと思います。

メモリアルと遺跡と

島岡 真

この会報が会員の皆様に届く頃には、下図の工事がどこまで進んでいるのかを思いながらこの原稿を書いています。



ご存知の通り、これは名古屋駅前のシンボル＜飛翔＞の撤去作業が始まった頃、6月のものです。この撤去はリニア新幹線の27年開業予定に併せた、駅前広場の再整備が目的とされています。ところが移転先の笹島では、高さがオーバーするとかでまだ最終決定には至っていません。この＜飛翔＞が1989（平成元）年の世界デザイン博・名古屋開催を記念したメモリアルであることはご承知のとおりです。その博覧会自体が、名古屋市制100周年を記念して「過去から未来への発信」をテーマにしたものでした。

一方、このモニュメントの以前には、下の図の像と噴水があったことを記憶されている方はもう少ないでしょうか。



噴水奥の両足を踏ん張っている像は昭和33(1958)年、手前の大噴水は翌34年に設置されています。

この像＜青年の像＞は戦後名古屋の復興・発展を、前年の初めての地下鉄開業とも併せ、青年都市・名古屋のシンボルとして人々にお披露目されました。製作は名古屋の彫刻家・野々村一男氏で、芸術院会員としてその後も長年活動された方です。

大噴水はその翌年の7月に完成したものです。涼を求めた若い男女のデートの場としても賑わったと、当時の新聞に見えます。ところが、その2か月後に伊勢湾台風が襲います。この駅前一帯も低地ならではの広範な浸水被害に見舞われ、翌年の梅雨前線水害とも併せ急遽この大噴水の地下に排水ポンプ所が設置されます。見方によっては、この大噴水は伊勢湾台風記念物ともいえます。＜青年の像＞は後の新天地がありますが、大噴水の以後の顛末は記録にはなかなか見当たりません。

先日久し振りに名城公園北園へ行って来ました。都会の中この広大な静かな空間を改めて満喫しながらのひと時でした。ここで＜青年の像＞（下図）との久し振りの再会です。駅前の喧騒の中、成長をひたむきに追い求めたあの姿が、木立の中に小さな丘の上で悠然としているように見えます。ところが、この像はオランダ風車と共に公園のシンボリック存在のはずですが、説明板的なものが見当たりません。公園事務所に聞いても詳しいことは分からないとか。従って、この文章はネット検索で得た情報に大分頼っています。

時を同じく公園の北部で、県体育館移転に伴う発掘調査がされていました。そこでは弥生期、奈良期の2本の旧河道が発見され、熱田台地との関連が注目されるようです。リニア工事でのシンボル撤去から始



めた文章ですが、このリニア新幹線という巨大な地下構造物が遺跡・遺構として未来の世代に発見されるのではないかと、想像を飛躍させている最近です。

万葉の花 その6

コガマ（ガマはすだれの材料）

三矢保永

きみ 君待つと わが恋ひをれば わが^{やど}屋戸の すだれ動
かし 秋の風吹く

ぬかたのおおきみ

額田王 万葉集巻四 488

万葉集巻八 1606

大意 あのお方が来て下さるのを待って恋い焦がれていると、私の家のすだれをさわさわと動かして、秋の風が吹いていきます。

注 蒲（がま）は集中には詠まれていませんが、葦とともに簾（すだれ）の材料として利用されていたので、簾の入った歌を選びました。王朝貴婦人の雅な情感を心のままに表現した名歌とされています。題詞によれば、天智天皇を偲んで額田王が詠んだとされています。天智天皇の先妻に相当する実の姉鏡王女（鎌足に降嫁）の歌と対になっています。しかし万葉集の初期の歌とは思われない雅すぎる歌風、掲載巻が額田王の他の作品と異なる、重複掲載（巻四と巻八）などから、特異な歌とされ、後代の作との説もあります。

平城遷都 1300 年記念（2010 年）協賛 万葉集 1250 年記念（2009 年）事業「万葉のこころを未来へ」テーマソング「万葉恋歌」の出だしに採用され、小林幸子によって歌われたことは記憶に新しいです。

参考文献：伊藤博 萬葉集釈注 集英社文庫ヘリテージシリーズ--



撮影 写真サークル 梅原誠人

佐渡の鬼太鼓（おんでこ・おにだいこ）

野崎ますみ

佐渡といえば、世界遺産登録間近の金銀山群、神事に結びついた能、早春の山野草の花、米、酒、魚などが有名です。そして、祭りの「鬼太鼓」も忘れてはなりません。

神社の祭りの日、鬼太鼓は早朝の境内の打ち出しから始まります。その後、地区の門口を回り、玄関先で五穀豊穡と厄除けを祈り舞います。集落を一回りするところになると日も暮れ、振舞い酒も重なり、鬼も太鼓もヘトヘトのはず。しかし、太鼓のリズムと鬼の舞は力強く魅力にあふれ、見るものを引き込みます。



鬼太鼓は、地区ごとに太鼓のリズムや登場人物（鬼、獅子、豆まき、花笠等）も違い、現在は島内に 5 系統、約 120 種類があるといわれています。起源は不明ですが江戸中期の絵にはすでに描かれています。

このような伝統文化が引き継がれるのは、離島なればこそ、かもしれません。



金井新保地区の鬼太鼓（上の写真も）

野外観察園 2022 秋

吉野奈津子

ただ今観察園はツルマメだらけです。大豆の原種と言われるもので、実験に豆が必要なので育てていますが繁茂の様子には毎年頭を悩ませます。このツルマメとアサガオを実験材料としている先生からアサガオの苗をいただきました。変種アサガオと言われるもので、江戸時代に流行り、朝顔市などで今でも流通しています。筒の中央が折れ曲がっているように見えるのは台咲きと呼ばれる咲き方、縮れた葉は縮緬(ちりめん)、細かく斑が入るのは雀斑(じゃくはん)というそうで、「青縮緬葉雀斑台咲(あおちりめんばじゃくはんたいざき)」、「黄縮緬葉濃茶台咲(きちりめんばこいちゃたいざき)」などと名前を見れば葉色、形、花の咲き方等が分かります。もはやアサガオとは思えないような姿のものもあるようです。



青縮緬葉雀斑台咲
Ipomoea nil (L.) Roth



黄縮緬葉濃茶台咲
ヒルガオ科

ボタニカルアート(植物画)サークルを 2023 年 1 月から再開します

※新型コロナウイルス感染症拡大防止措置による活動休止前に継続されていた方には順次ご連絡いたします(往復葉書によるお申込みは不要です)。

●活動再開概要 ※新規でご応募いただく方も同じ内容となります。

実施期間：毎月1回(土曜日)活動をし、4か月単位で更新します。

2023年第I期：2023年1月7日、2月11日、3月11日、4月8日(13:00~15:45)

講師：東海林富子

サークル運営費：各期5,000~8,000円程度※運営費は活動人数により変動。活動人数確定後、別途連絡します。

※集金は各期の初回に行います。博物館友の会会費は含みません。

●新規会員を数名程度募集します。

応募資格：名古屋大学博物館友の会会員のうち、本サークル以外のボタニカルアート(植物画)に関する教室、講座等に現在参加・加入していない方であれば、どなたでもお申し込みいただけます。

応募方法：必ず往復葉書にて次の内容を明記の上、お申し込みください。

●往信用葉書裏面に以下の項目を明記してください。

①ボタニカルアートサークル参加希望、②郵便番号・ご住所、③ご氏名、④お電話番号、⑤電子メールアドレス、⑥友の会会員番号

●返信用葉書表面に、申込者の郵便番号、ご住所、ご氏名をご記入ください。

申込先：〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学博物館友の会

申込期限：2022年11月30日(水)必着 ※応募者多数の場合は抽選となります。

※応募方法及び往復葉書の記載内容に不備等がある場合は無効となる場合がありますので、ご注意ください。

※サークル活動時の持ち物など詳細については、メンバーになられる方(抽選の場合は当選者)宛て返信用葉書裏面にてご案内いたします。

名古屋大学博物館友の会ニュースレター 2022年10月3日発行

名古屋大学博物館友の会 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学博物館 気付

電話：052-789-5767(博物館事務室) F A X：052-789-5896(博物館事務室)

Eメール：hakubututomo@gmail.com アクセス：地下鉄名城線「名古屋大学」下車 2番出口

ホームページ：http://www.num.nagoya-u.ac.jp/fan

年会費1000円(4/1~3/31) 10/1~3/31に入会した場合は500円(次年度は1000円)

家族会員制度あり(同居の家族1名まで年会費を免除)

<振込先> ゆうちょ銀行 口座番号：00800-8-166807 加入者名：名古屋大学博物館友の会

他銀行からの振り込み 店名〇八九(ゼロハチキュウ) 店番(089) 当座 0166807